



御霊ヶ下・大構 町内会

さんあいしんぶん

Vol. 7

第7号 2016年(平成28年)7月発行

町内会のホームページはこちら → <http://daigono1.info/index2.html>



御霊ヶ下・大構 町内会チームの選手、町内会体育委員、勝手応援団のみなさん。

五月二十九日(日) 八時四十五分から、池田東小学校運動場で「第三回ペタンク大会」が開催されました。我が町内からAチームは服部

5/29

第三回 池田東学区「ペタンク大会」優勝しました



ペタンク牽引者梅村さん。

中村、谷、梅村由美子。Bチームは梅村録男、奈良、伊舟城、杉本が出場。Aチームが優勝しました。(敬称略)

7/17

池田東チーム 京都大会出場 壮行会を開催

七月十七日、池田東ふれあいサロンで、池田東体振が発起人となり、池田東自町連各種団体代表らによる壮行会を開催、必勝を祈願しました。

伏見ハイライト 熱戦！区民ソフトボール大会

5月15日、22日の2日間にわたり、第63回伏見区民ソフトボール大会が横大路運動公園で開催されました。各試合、白熱した手に汗握る好ゲームが繰り広げられ、男子一般は、桃山東チームが、男子壮年では、池田東チームが、優勝の栄冠に輝きました。結果は次のとおりです。

- 【男子一般】
- 優勝 桃山東
- 準優勝 羽東師
- 第3位 砂川、北醍醐
- 【男子壮年】
- 優勝 池田東
- 準優勝 藤森
- 第3位 深草、納所



【優勝】池田東チーム(壮年)



【優勝】桃山東チーム(一般)

優勝した桃山東・池田東チームは、7月24日(日)開催の市大会に区代表として出場します。



ユニフォームも新調し結束力も一段と強化。

市民新聞 伏見区版 平成28年7月15日号に掲載されました。

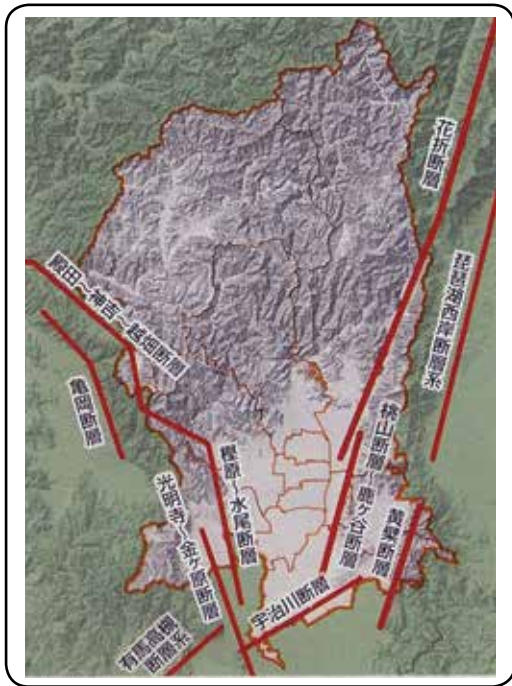
私たちは将来の震災に どう向き合えばよいのか

想像力を豊かに

「熊本の地震はまだ続いているんです。千八百回を超えました」。先日会った、南阿蘇村在住の同級生が切実に語っていた。地震で通学が困難になり、お子さんは関西の高校への転校を余儀なくされたそうだ。「さらに大雨が追い打ちをかけている」。時間の経過にしがたい、報道も少

なくなり、自分の震災への思いが早くも薄れていつていることを痛烈に反省させられた。幸いにも、私たちが暮らす

醍醐地区は直接大震災の被害にあっていない。一方で、近くに活断層が走っている事実を知らない方はいらつしやらないだろう。今こそ、想像力を豊かにして、来るべき震災に備えるべきではないだろうか。



京都市周辺の活断層。

高まっている 地震の可能性

醍醐地区は、災害のなかでも、風水害・土砂崩れに対しては、比較的安全な地域である。もちろん台風風の進路には常に注意が必要であるし、万千代川が決壊するような大雨が降らないとも限らない。

しかし、第一に想定しなければならぬのは地震である。政府の地震調査研究推進本部によると、M8〜9クラスの南海トラフ地震が今後三〇年間に発生する確率は七〇％程度とされている。醍醐地区は津波の心配はないが、「地盤の割れ目」が大きな揺れを引

き起こすことは容易に想像できる。ことさらに不安を駆り立てるつもりはないが、もう万が一ではないことを理解して、「地震に対する備え」をするために一歩を踏み出すことが必要である。

3・3・3の原則

地震の発生から避難生活期に至るまでの時間経過と対応の目安を「3・3・3の原則」というそうだ。まず、自身の身の安全を確保しなければならぬ。自分の命を守ることに三分。次に、救助体制の確保、つまり「地域の集合場所」に集まる。町内の中央公



2013年9月の台風で万千代川が砂利で埋まった。



頭部負傷時、パストを利用しての応急処置。



骨折時、ダンボールと布を使つての応急処置。

園に集まり、池田東小学校に移動するのに三分。次に、自身や家族の安全を確保した上で、危険な人の発見や救出を行う。その目安が三時間。そして、行政が地域に入ることが難しい三日間は、全ての人の安全確認と安全な避難を行うという理想を掲げて、避難所運営協議会を立ち上げた。ルールを設定したりして、

災害用伝言ダイヤル

大規模災害にあった時、家族や友人に無事を知らせたい、
家族や友人の安否を確認したい。

そんな時に利用できるのが、この伝言ダイヤル。

◎無事を伝えたい

【伝言録音】

1 7 1 + 1 + 伝えたい人の電話番号

◎無事を確認したい

【伝言再生】

1 7 1 + 2 + 確認したい人の電話番号

地域の力を結集して持ちこたえるのである。なお、町内会役員が「池田東避難所運営マニュアル」を保管しているので、閲覧希望の方は役員に申し出て下さい。

また、地震が起こるのが何曜日、何時かによって、家族全員が自宅にいるか、学校や職場にいるかという状況は異

なってくる。したがって、様々なパターンを想定して、家族の安否確認ができるようにしておく必要がある。

さらに、「自助」の次は「共助」である。特に、「災害時要配慮者」、すなわち災害時に自力で避難等が困難で、配慮や支援が必要な、高齢者、障害のある人、乳幼児、児童

妊産婦、外国人への対応はかせない。このとき、町内会の結束力が試される。日頃から、積極的に防災訓練に参加することはもちろんのこと、地蔵盆やまつり、体育祭などの町内会行事にも参加することが、個人・地域防災力の向上につながるはずである。



心肺蘇生訓練。心臓マッサージ、AED使用。



洗濯用竹竿と毛布で担架を作る訓練。

歴史に学ぶ

私たちの町内は、醍醐寺正面の旧奈良街道沿いのハイストリート（醍醐辻）から、西にのびる小栗栖街道がなだらかに下っている南側に位置している。住宅が立ち並ぶ前は、水田が広がっていた地区である。中央公園の南東のところに、醍醐山からの伏流水が流れている場所がある。確認はないが、地下水が豊富ということは、地震の際に液状化現象が起りやすいのかもしれない。

京都盆地にある活断層が、歴史時代に活動した記録はない。しかし、周辺の活断層がずれたことによる大地震は記録に残っている。この辺りでは、今から約四百年前の秀吉の時代に起きた「伏見地震」（一五九六年）が最も激しく揺れたようだ。この地震で、伏見城の天守閣が倒壊し、巨椋池のほとりにあった向島城の石垣は液状化現象によって、三メートル以上も沈下した。このとき活動したのが馬一高槻断層帯である。なお、伏見地震で活動しなかった野島断層が引き起こしたのが、一九九五年の阪神・淡路大震災である。〔T〕



消火器による消火訓練。



自主防災会が管理する災害時対応各種器具類。

これからの学区・町内会行事

7月

- 22日～28日 ラジオ体操前期
 23日(土)～24日(日)
 少補主催 校庭キャンプ
 午前9時～
 24日(日) 市ソフトボール大会
 午後12時～
 岩倉グラウンド

8月

- 6日(日) 池田東納涼夏まつり
 午後5時45分～9時
 池田東小学校グラウンド
 13日(土) 組長会議
 17日～23日 ラジオ体操後期
 19日(金) 地藏盆準備
 20日(土) 地藏盆本番 午前9時～
 21日(日) 地藏盆後片付け

9月

- 10日(土) 組長会議
 18日(日) 醍醐ふれあいプラザ
 19日(月・祝) 3公園掃除
 敬老の集い
 25日(日) 池田東総合防災訓練

【追想】 二十年間の 町内活動を振り返って

高橋修一

いつも町内会活動へご協力いただき誠にありがとうございます。六月末に区役所へ転居届も済み、今回で私の寄稿は最後となります。先ずは町内会活動に関わっていただいている皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます！

今回は、最終稿ということで過去を振り返りながらお伝えできればと思っています。この町内会に参加させていただいた約二十年前、佐治会長との巡り合いから私の町内会活動はスタートしました。奈良会長、井上さん、平田さん、藤野さん、増木さん、そして今は亡き高地さんと、私にとって大切なメンバーとの出会いが私の町内活動の一番の支えであったことは間違いありません。そんな中で組長、会計部長、企画広報部長、副会長と町内会活動に関わらせていただき活動を通じて感じたことは、町内会はまさに町内会員が主役であり、そのお手伝いをするバックヤードとして私たちに何ができるのかということでした。

前号で紹介した「町内会によるインターネットでの情報発信」や、「警報機付消火器」もその一つでしたが、それ以外にも企画広報メンバーが中心となって「わが家の元氣印旗」(安否表示)、「命のバトン」(救急隊への緊急時伝達)、「非常持出品・備蓄品チェックリスト」(阪神淡路大震災を参考として)の作成、そしてこの「さんあいしんぶん」の発行と、少しでも住みやすく、安心な町づくりを目指して色々な事業に取り組んで参りました。また、かねてより念願としていた町内会費の減額も皆様のご協力のおかげで実行することができました。ありがとうございます。

最後に、池田東自治町内会

生き物シリーズ クワガタムシ



「Stag beetle」。鍬形虫は、コウチュウ目・クワガタムシ科に属する「大きな顎」を持つ昆虫のこと。世界では約1500種類が知られていて、日本には、39種が分布しています。



時には遠出をして羽を伸ばしました。東尋坊にて。

組長

新規入会申込は
組長さんまで。

◆企画・広報部会
 編集委員長・竹村栄晃(十三組 五七一一〇一八七)
 委員・奈良磐雄、桂田武幸、深尾拓哉、立上義裕、山崎和代、津留賀永子



こんなヒト、コト、モノ、バシヨなどの情報を教えてください。取材は編集部がやります。お待ちしています！
 なお、この新聞は「伏見区 区民活動支援事業」の補助を受けて発行しています。

町内の情報大募集!